

アクアプラン川口21
～第3次川口市水道ビジョン～

第2期（令和4年度～令和6年度） 期間検証

はじめに

「アクアプラン川口 21～第 3 次川口市水道ビジョン～」は、上位計画である「第 5 次川口市総合計画」等と整合を図りつつ、給水収益の減少や水道施設の老朽化の進行など、今日の水道事業が抱える課題を解決するため、平成 31 年 3 月に策定した中長期経営計画です。

また、第 6 章として、経営健全化における取組みや、施策・事業を具体化するための投資と財源を明らかにした財政収支計画を盛り込んでおり、これは、総務省が全公営企業に対し策定を要請している「経営戦略」に位置づけられるものです。

本計画は、計画期間を第 1 期（令和元年度～令和 3 年度）、第 2 期（令和 4 年度～令和 6 年度）、第 3 期（令和 7 年度～令和 10 年度）に区分し、各期の進捗管理を行っておりますが、この度、計画期間の第 2 期が終了したことに伴い、事業計画・財務状況の両側面から 3 年間の取組みとその成果を検証し、結果を公表するものでございます。

本計画は、令和 7 年 3 月に改訂を行い、第 3 期（令和 7 年度～令和 10 年度）の運用を開始しておりますが、本検証は改訂前計画の第 2 期に対するものとなっております。

目次

はじめに

1	水道事業の概要		
	(1)	給水状況	1
	(2)	財務状況	3
2	各事業についての期間検証		6
	政策1	安全・安心な水道水の確保	8
	政策2	安定・快適な水道水の供給	12
	政策3	災害対策の推進	19
	政策4	サービスの向上	24
	政策5	社会・環境との調和	28
	政策6	経営基盤の強化	30
3	経営戦略についての期間検証		34

1 水道事業の概要

(1) 給水状況

第2期最終年度である令和6年度の給水人口は607,940人となり、「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」第1期最終年度である令和3年度と比較し、2,877人(0.48%)の増となりました。給水戸数は308,605戸となり、令和3年度と比較し、12,067戸(4.07%)の増となりました。

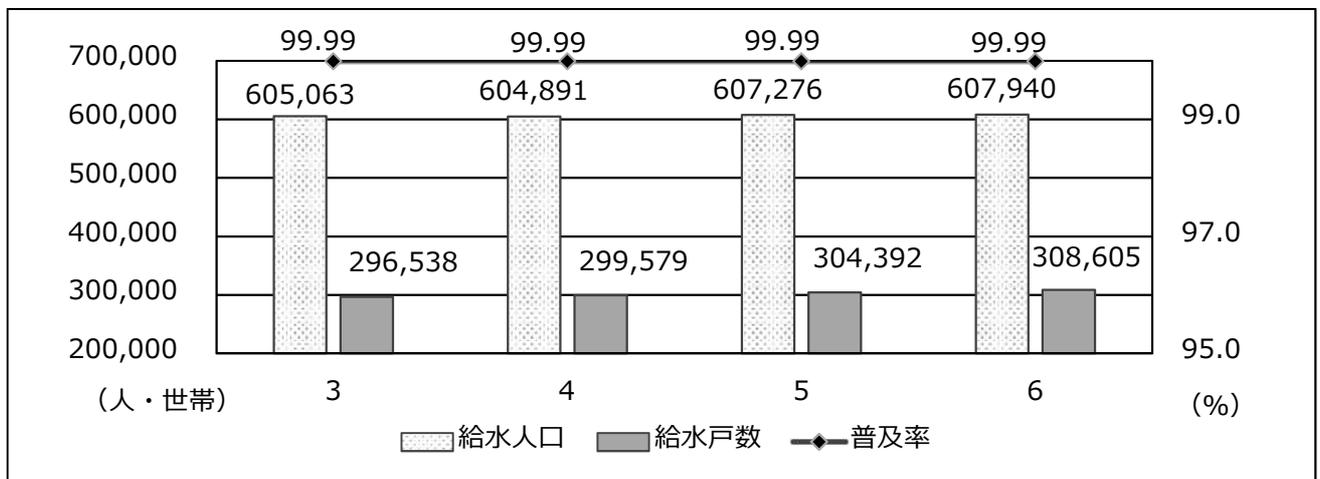
計画値との比較では、令和6年度において、給水人口(実績値)が計画値を5,174人下回っているのに対し、給水戸数(実績値)は計画値を10,056戸上回っています。

これは、人口の増加が想定よりも緩やかであった一方、人員の少ない世帯が増加したことによるものと考えられます。

(図表1-1) 計画値・実績値の比較

項目(単位)	年度					差引増減 (A)-(B)
		令和3年度 (B)	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (A)	
給水人口 (人)	計画値	-	610,097	611,438	613,114	2,877
	実績値	605,063	604,891	607,276	607,940	
	計画値と実績値の差	-	△ 5,206	△ 4,162	△ 5,174	
給水戸数 (戸)	計画値	-	297,019	297,784	298,549	12,067
	実績値	296,538	299,579	304,392	308,605	
	計画値と実績値の差	-	2,560	6,608	10,056	
有収率 (%)	計画値	-	90.80	90.91	91.02	△ 1.36
	実績値	90.86	90.79	90.52	89.50	
	計画値と実績値の差	-	△ 0.01	△ 0.39	△ 1.52	
年間配水量 (m ³ /年)	計画値	-	65,772,357	65,867,922	65,664,711	△ 1,648,600
	実績値	64,376,825	62,870,197	62,402,892	62,728,225	
	計画値と実績値の差	-	△ 2,902,160	△ 3,465,030	△ 2,936,486	
年間有収水量 (m ³ /年)	計画値	-	59,721,300	59,880,528	59,768,020	△ 2,354,978
	実績値	58,495,024	57,078,862	56,484,884	56,140,046	
	計画値と実績値の差	-	△ 2,642,438	△ 3,395,644	△ 3,627,974	

(図表1-2) 年度別給水人口・給水世帯・普及率比

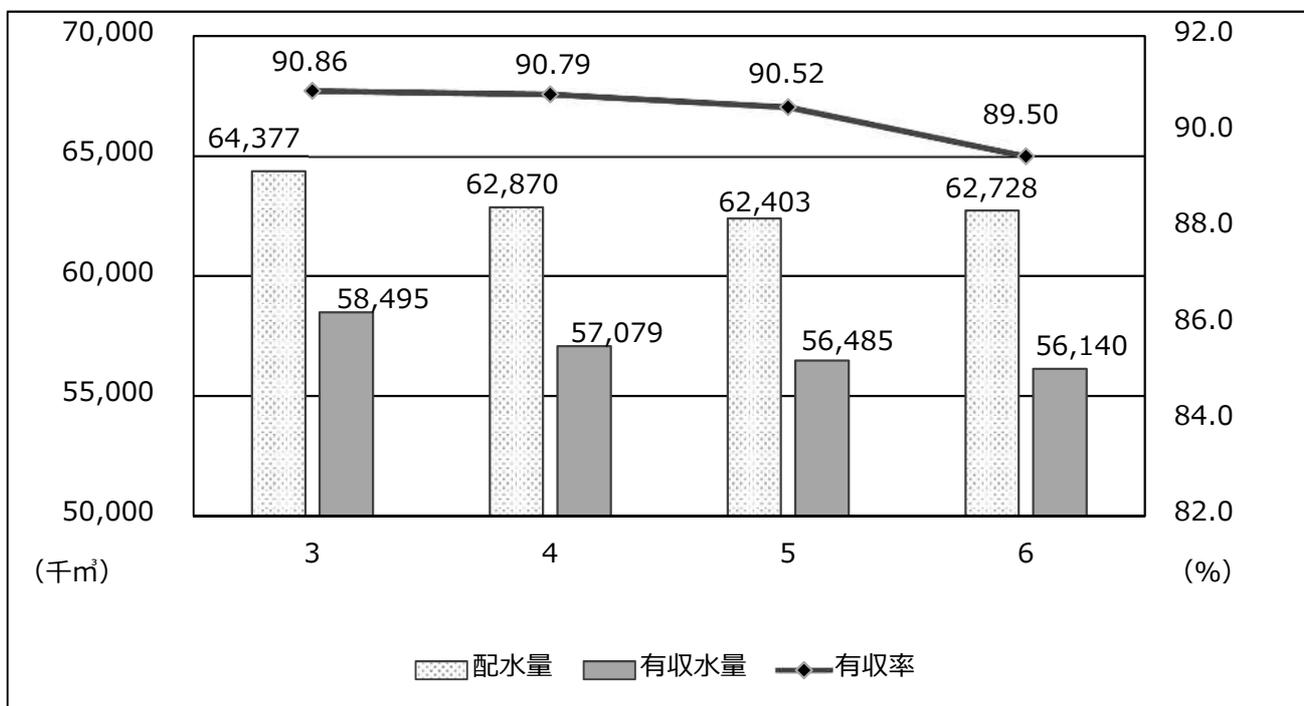


令和 6 年度の年間配水量は 62,728,225 m³となり、令和 3 年度の 64,376,825 m³と比較し、1,648,600 m³ (2.56%) 減少しました。一方、有収水量は 56,140,046 m³となり、令和 3 年度の 58,495,024 m³と比較し、2,354,978 m³ (4.03%) 減少しました。

長期的に見ると、総配水量、有収水量ともに横ばいから減少傾向にあります。これは、令和 4 年度以前は、コロナ禍での外出自粛の影響等により使用水量が一時的に増加したものの、その終息によってコロナ禍前の状態に戻り、使用水量が落ち着いてきたためと考えられます。

有収率については、令和 3 年度までは上昇傾向にあったものの、令和 4 年度から減少傾向に転じており、令和 6 年度には 89.50%と、令和 3 年度の 90.86%と比較し 1.36%減少しました。この原因については、検証作業を進めています。

(図表 1-3) 総配水量、有収水量及び有収率の推移



(2) 財務状況

(2) - 1 収益的収入及び支出の状況

■収益的収入

収益的収入については、令和6年度は13,023,250千円となり、令和3年度の13,265,452千円と比較し、242,202千円の減となりました。これは主に、給水収益と負担金の減少によるものです。

■収益的支出

収益的支出については、令和6年度は11,146,577千円となり、令和3年度の10,608,272千円と比較し、538,305千円の増となりました。これは主に、資材価格や人件費の高騰により、維持管理に係る費用が増加していることによるものです。

(図表 1-4) 収益的収入及び支出

単位：千円

区分	年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		差引増減 (A) - (B)	増減率 (%)
		金額 (B)	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額 (A)	構成比 (%)		
収益的収入	給水収益	11,980,431	90.31	11,722,989	89.28	11,704,691	89.04	11,632,532	89.32	△ 347,899	△ 2.90
	負担金	64,866	0.49	70,911	0.54	50,378	0.38	55,391	0.43	△ 9,475	△ 14.61
	加入金	490,510	3.70	552,320	4.21	625,880	4.76	530,360	4.07	39,850	8.12
	手数料等	729,645	5.50	784,556	5.97	765,069	5.82	804,967	6.18	75,322	10.32
	計 (C)	13,265,452	100	13,130,776	100	13,146,018	100	13,023,250	100	△ 242,202	△ 1.83
収益的支出	人件費	599,634	5.65	581,361	5.10	607,069	5.49	640,291	5.74	40,657	6.78
	受水費	3,494,125	32.94	3,468,730	30.46	3,452,363	31.18	3,415,020	30.64	△ 79,105	△ 2.26
	修繕費	326,680	3.08	336,547	2.96	427,331	3.86	420,921	3.78	94,241	28.85
	委託料	2,406,190	22.68	2,621,456	23.02	2,714,620	24.52	2,795,867	25.08	389,677	16.19
	減価償却費等	2,848,694	26.85	2,961,599	26.01	2,958,278	26.72	3,015,721	27.06	167,027	5.86
	企業債利息	390,418	3.68	349,124	3.07	319,038	2.88	296,611	2.66	△ 93,807	△ 24.03
	物件費等	542,531	5.12	1,068,319	9.38	592,539	5.35	562,146	5.04	19,615	3.62
	計 (D)	10,608,272	100	11,387,136	100	11,071,238	100	11,146,577	100	538,305	5.07
純利益 (C)- (D)	2,657,180		1,743,640		2,074,780		1,876,673		△ 780,507		△ 29.37

(消費税及び地方消費税抜き)

純利益における計画値との比較(図表 1-5)では、令和4、5年度は実績額が計画額を上回りましたが、令和6年度は、総収益が減少し、総費用が増加したことにより、実績額が計画額を下回っています。

(図表 1-5) 収益的収支（純利益）における計画額・実績額の比較

単位：千円

項目（単位）		年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
純利益	(千円)	計画額	1,574,520	1,831,693	2,313,660
		実績額	1,743,640	2,074,780	1,876,673
	計画額と実績額の差		169,120	243,087	△ 436,987

(消費税及び地方消費税抜き)

(2) - 2 資本的収入及び支出の状況

■資本的収入

資本的収入については、令和6年度は1,651,937千円となり、令和3年度の1,813,062千円と比較し、161,125千円の減少となりました。これは、主に企業債の減少によるものです。

■資本的支出

資本的支出については、令和6年度は6,956,831千円となり、令和3年度の7,317,264千円と比較し、360,433千円の減少となりました。これは、主に建設改良費(拡張費・改良費)及び企業債償還金の減少によるものです。

資本的収支の不足額については、減債積立金や損益勘定留保資金などで補てんしました。

(図表 1-6) 資本的収入及び支出

単位：千円

区分		年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		差引増減 (A) - (B)	増減率 (%)
		金額 (B)	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額 (A)	構成比 (%)				
資本的収入	企業債	1,700,000	93.76	1,750,000	94.10	1,730,000	90.46	1,522,200	92.15	△ 177,800	△ 10.46		
	国・県補助金	0	0.00	12,183	0.65	33,245	1.74	0	0.00	0	0.00		
	工事負担金等	113,062	6.24	97,627	5.25	149,115	7.80	129,737	7.85	16,675	14.75		
	計 (C)	1,813,062	100	1,859,810	100	1,912,360	100	1,651,937	100	△ 161,125	△ 8.89		
資本的支出	企業債償還金	1,736,428	23.73	1,756,379	26.45	1,735,384	27.70	1,589,469	22.85	△ 146,959	△ 8.46		
	拡張費・改良費	5,551,426	75.87	4,873,453	73.38	4,518,725	72.13	5,351,558	76.93	△ 199,868	△ 3.60		
	量水器・固定資産購入費等	29,410	0.40	11,098	0.17	10,905	0.17	15,804	0.22	△ 13,606	△ 46.26		
	計 (D)	7,317,264	100	6,640,930	100	6,265,014	100	6,956,831	100	△ 360,433	△ 4.93		
資本的収支差引 (C)- (D)		△ 5,504,202		△ 4,781,120		△ 4,352,654		△ 5,304,894		199,308		△ 3.62	

(消費税及び地方消費税込み)

(図表1-7) 補てん財源

単位：千円

区分	年度	令和3年度 (B)	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (A)	差引増減 (A)-(B)	増減率 (%)
減債積立金		1,540,000	1,756,379	1,730,000	1,580,000	40,000	2.60
建設改良積立金		0	0	910,000	500,000	500,000	皆増
損益勘定留保資金		3,493,552	2,623,847	1,332,048	2,774,766	△ 718,786	△ 20.57
当年度利益 剰余金処分額		0	0	0	0	0	0.00
繰越利益 剰余金処分額		0	0	0	0	0	0.00
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額		470,650	400,894	380,606	450,128	△ 20,522	△ 4.36
合計		5,504,202	4,781,120	4,352,654	5,304,894	△ 199,308	△ 3.62

(図表1-8) 企業債の状況

単位：千円

区分	年度	令和3年度 (B)	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (A)	差引増減 (A)-(B)
借入金額		1,700,000	1,750,000	1,730,000	1,522,200	△ 177,800
償還額	元金	1,736,428	1,756,379	1,735,384	1,589,469	△ 146,959
	利息	390,418	349,124	319,038	296,611	△ 93,807
年度末残高		29,003,502	28,997,123	28,991,739	28,924,470	△ 79,032

(図表1-9) 資本的収支（企業債年度末残高）における計画額・実績額の比較

単位：千円

項目(単位)	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
年度末残高	(千円)	計画額	28,997,122	28,991,739	28,982,269
		実績額	28,997,123	28,991,739	28,924,470
	計画額と実績額の差	1	0	△ 57,799	

(消費税及び地方消費税抜き)

2 各事業についての期間検証

「アクアプラン川口 21～第3次川口市水道ビジョン～」第5章に定める35の事業について、3年間の進捗状況を振り返り、計画値及び計画額と実績との差異について検証します。なお、各年度における事業の達成状況や成果についての検証は、毎年度実施している事業評価により行っています。

基本政策	施策	事業名称
1 安全・安心な水道水の確保	1-1 水源の保全と確保	1-1-1 県水受水の安定化
		1-1-2 自己水源の確保
	1-2 安全な水質の維持	1-2-1 水質監視体制の強化
	1-3 安全な水道水の提供	1-3-1 貯水槽水道の適正管理の推進
		1-3-2 水道管洗浄の促進
		1-3-3 直結給水の普及促進
2 安定・快適な水道水の供給	2-1 水道施設の更新	2-1-1 浄配水場施設の更新
		2-1-2 老朽化管路の計画的更新
	2-2 配水管網の強化	2-2-1 配水管のネットワーク化の推進
		2-2-2 効率的な管路の拡張・充実
	2-3 維持管理の充実	2-3-1 浄配水場の適切な維持管理
		2-3-2 管網の適切な維持管理
	2-4 維持管理の充実	2-4-1 漏水調査・漏水対策
		2-4-2 老朽給水管布設替の推進
		2-4-3 私道内給水管布設替整備補助の促進
	3 災害対策の推進	3-1 震災対策の強化
3-1-2 応急給水・復旧体制の整備		
3-1-3 災害用資器材の整備		
3-2 危機管理体制の確立		3-2-1 テロ対策の強化
		3-2-2 濁水対策の強化
		3-2-3 水道事故対策の強化
		3-2-4 災害対応の強化
4 サービスの向上	4-1 お客様サービスの向上	4-1-1 お客様センターの利便性の向上
		4-1-2 サービスの多様化
		4-1-3 情報資産の管理と情報提供の推進
		4-1-4 水道事業 PR とお客様の声の反映

基本政策	施策	事業名称
5 社会・環境との調和	5-1 地域社会との協働	5-1-1 地域社会との連携強化
	5-2 資源の有効利用と環境負荷の軽減	5-2-1 資源・エネルギーの有効活用
6 経営基盤の強化	6-1 財政基盤の強化	6-1-1 水道料金の継続的検討
		6-1-2 収納率の向上
		6-1-3 資産・資金管理の効率化
	6-2 組織能力の向上	6-2-1 適正な組織・職員配置
		6-2-2 人材の育成
	6-3 経営体制の強化	6-3-1 中期経営計画の運用
6-3-2 広域連携の強化		

目指すべき方向性 「安全」

基本政策	施策	事業名称
1 安全・安心な水道水の確保	1-1 水源の保全と確保	1-1-1 県水受水の安定化
		1-1-2 自己水源の確保
	1-2 安全な水質の維持	1-2-1 水質監視体制の強化
	1-3 安全な水道水の提供	1-3-1 貯水槽水道の適正管理の推進
		1-3-2 水道管洗浄の促進
		1-3-3 直結給水の普及促進

お客様がいつでも安心して飲める安全な水道水をお届けします。

基本政策 1 安全・安心な水道水の確保

お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。

1-1-1 県水受水の安定化

事業目的	・埼玉県から購入する原水(県水)の安定的な受水を図るため、埼玉県との連携を強化します。					
事業目標	・水需要および配水量の実績をもとに、次年度の受水量を的確に予測し、県水受水量を確保します。 ・埼玉県と情報共有を継続して実施し、連携強化を図ります。					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	11,585,812	11,555,717	11,555,717	11,369,725		
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度	
	計画額(千円)		3,856,752	3,863,323	3,865,737	
	当初予算額(千円)		3,888,014	3,866,947	3,800,756	
	予算現額(千円)		3,888,014	3,866,947	3,800,756	
	決算額(千円)		3,815,603	3,797,600	3,756,522	
	指標 (項目)	年間給水制限日数(日)	目標値	0	0	0
			実績値	0	0	0
	計算式等					
	指標 (項目)	受水予測精度(%)	目標値	99.9	99.9	99.9
			実績値	99.2	99.4	100.1
計算式等	(年度末実績/当該年度申込水量) × 100					
検証結果	<p>給水人口は令和4年度に減少しましたが、その後は微増傾向にあります。配水量は、コロナ禍の影響が薄れていることに加え、天候変化等による水需要の変動が影響するため見通しが難しく、結果として、令和6年度は実績値が目標値を超えました。今後においても目標値を上回る可能性があるため、実績値を継続して検証し、予測精度を上げ、県水量を確保していきます。</p> <p>計画額、予算額、決算額の差は、計画策定時の配水量(水需要)の見込みと予算編成時の見込みとの差、また実際の配水量(水需要)との差によるものです。</p> <p>なお、県水は、配水量(水需要)の見込みをもとに前年度中に県に対し申込みを行い、承認を受けた水量を超えないよう運用することが望ましく、実際の配水量(水需要)が申込水量を下回った場合でも、申請水量の99.0%分は支払わなくてはならない仕組みとなっています。</p> <p>配水量(水需要)に対する県水の過不足分は、自己水源である深井戸からの揚水量で調整しています。</p>					

1-1-2 自己水源の確保

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 地下水の安定した揚水量を確保するため、取水井の適切な維持管理を行います。 自己水源の安定的な確保を図るため、老朽化した取水井の改良・掘替工事を計画的に実施します。 				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 井戸の揚水量の測定や内部調査を継続して実施し、安定した自己水源を確保します。 掘り替え可能な16本の井戸について、施工の可否等を調査の上、施設更新計画に基づき適切に工事を実施し、自己水源の確保を図ります。 				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	207,639	30,602	24,090	24,090	
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		69,213	69,213	69,213
	当初予算額(千円)		5,170	12,716	12,716
	予算現額(千円)		6,160	13,330	4,600
	決算額(千円)		6,160	13,330	4,600
その他指標	井戸の静動水位・揚水量の測定(回/年)	目標値	4	4	4
		実績値	4	4	4
検証結果	<p>定期的に井戸の監視や測定を行い、健全性を保ちました。</p> <p>当初予定では、各年度で内部調査や掘替工事を行う予防工事を計画していましたが、使用可能と判断した設備については、工事を取りやめ継続使用したため、計画額を当初予算額が大きく下回りました。県条例により、深井戸の掘替工事は1度だけの許可制となっているため、耐用年数を超過した井戸についても使用可能と判断した設備については、計画年数以上に使用し、1度限りの掘替工事を可能な限り繰り延べさせることで自己水源確保の長期化を図っています。</p> <p>令和4年度は、鳩ヶ谷浄水場3号井ポンプ更新工事の設計の見直しをしたため、計画額、予算額と決算額に差が生じました。令和5年度は、当初計画の上青木浄水場6号井ポンプ更新工事の実施と不具合により、臨時で新郷浄水場2号井ポンプ更新工事を実施したため当初予算額を上回りました。令和6年度は、横曽根浄水場2号井ポンプ更新工事で追加工事が発生し、繰越になったことで、前払い金のみが決算額となったため予算額、決算額に差が生じました。</p>				

1-2-1 水質監視体制の強化

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 川口市水質検査計画に基づき水質監視体制の強化を図ります。 安全な水道水を供給するため、自動水質監視装置による24時間常時監視を行います。 				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 自動水質監視装置を更新するとともに、適切に維持管理を行い、24時間水質監視を実施します。 広域連携を強化し、水質異常の際には、迅速に対応します。 水質検査結果を速やかに公表します(毎月)。 				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	150,173	89,084	87,143	71,176	
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		107,588	21,293	21,293
	当初予算額(千円)		43,373	22,319	23,392
	予算現額(千円)		41,432	22,319	23,392
決算額(千円)		30,140	19,952	21,084	
検証結果	<p>水質検査については、計画どおり実施し(51項目/年4回、9項目/年12回)、ホームページで結果を公表しました。</p> <p>令和4年度の事業費は、水質検査手数料の他に水質モニター装置の更新工事にかかる費用を含むため、他の年度より大きくなっています。</p> <p>令和5年度、6年度の民間機関による検査については、人件費や薬品費の高騰により、予算額が計画額より増額したものの、契約差金により、決算額は計画額内に収まりました。</p>				

1-3-1 貯水槽水道の適正管理の推進

事業目的	・貯水槽水道に関する安全管理について継続的に広報していくとともに、貯水槽水道設置者に対し、水質の安全管理に関する通知などにより、貯水槽水道の適正な管理を促進します。					
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を活用し、継続的に広報活動を実施します。 ・新設された貯水槽に清掃・点検等を促す「貯水槽ステッカー」を貼付し、適切な維持管理について啓発に努めます。 ・貯水槽水道に関する問い合わせや相談に対して、適切な管理方法や清掃・点検業者の紹介等を随時行います。 ・小規模貯水槽設置者に対し、水質の安全管理の必要性についての通知を発送します。 					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	1,076	1,089	1,089	736		
年度毎の 設定項目	計画額(千円)		4年度	5年度	6年度	
	当初予算額(千円)		548	264	264	
	予算現額(千円)		264	561	264	
	決算額(千円)		264	561	264	
	指標 (項目)	貯水槽水道指導率(%)	目標値	33.3	33.3	33.3
			実績値	26.4	27.9	27.4
計算式等	(貯水槽水道指導件数/貯水槽水道数) × 100					
検証結果	<p>貯水槽の管理方法について、ステッカーの配布や、ホームページ・水道便利帳による広報を実施し、啓発に努めました。</p> <p>また、貯水槽水道設置者に対し、管理指導を実施するとともに現地調査等を行い、台帳修正を行いました。</p> <p>貯水槽の所有者についての把握や指導は、平成15年度から開始され、未だ所有者不明のものが多く、所有者特定と同時並行で業務をすすめているため、指導率は目標値を下回っていますが、徐々に改善(上昇)傾向にあります。</p> <p>事業費は主に、安全管理に関する通知の郵便料金や啓発シール作成に係る印刷費です。啓発シール作成を令和4年度から令和5年度へ後ろ倒しにしたことにより、予算額・決算額と計画額とで差が生じました。令和6年度は郵便料金の各種割引(区内特別郵便・バーコード付郵便物など)により、決算額が計画額・予算額を下回りました。</p>					

1-3-2 水道管洗浄の促進

事業目的	・水道管の多くは鑄鉄管またはダクタイル鑄鉄管であり、管内面に防錆処理をしていますが、鉄錆の発生等により濁り水が発生する恐れがあります。そのため、水道管内の洗浄作業を実施することにより、管内状態を改善し、安全・安心な水道水を提供します。				
事業目標	・配水管洗管計画に基づき、効率的に配水管を洗浄します。 ・市内配水管路端末地区やお客様ニーズの高い地区の洗浄作業を行います。				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	212,949	311,707	311,707	259,650	
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		70,983	70,983	70,983
	当初予算額(千円)		110,627	94,875	106,205
	予算現額(千円)		110,627	94,875	106,205
	決算額(千円)		79,094	81,841	98,715
	指標 (項目)	水質に対する苦情対応割合(件/千件)	目標値	0.43	0.43
計算式等	水質苦情対応件数/(給水件数/1,000)	実績値	0.12	0.10	0.07
検証結果	配水管洗管作業計画に基づき、大規模な事故もなく洗管作業を実施しました。人件費の高騰により、各年度とも予算額、決算額が計画額を上回りましたが、いずれの年度も決算額は予算額内に収まりました。 なお、令和4年度については、PCB調査及びJR軌道下調査費用が想定よりも安価であったことから、決算額が予算額を大きく下回りました。				

1-3-3 直結給水の普及促進

事業目的	・貯水槽の設置場所や定期的な清掃・点検が不要になり、常に新鮮かつ安全・安心な水道水を直接供給する「直結給水」の普及を図るため、マンション等の高層建物における「直結増圧式給水方式」への切替を促進します。					
事業目標	・直結増圧式給水方式設計施行基準に基づき、設置者と協議を行い、適切に事業を実施します。 ・直結増圧式給水方式の普及を図るため、ホームページ等により広報活動を行います。					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	0	0	0	0		
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度	
	指標 (項目)	直結給水率(%)	目標値	63.5	63.6	63.7
	計算式等	(直結給水件数/給水件数)×100	実績値	64.1	64.0	64.0
	指標 (項目)	直結増圧式給水戸数(戸)	目標値	16,900	18,000	19,100
	計算式等		実績値	17,364	18,714	20,064
	指標 (項目)	直結増圧式給水普及率(%)	目標値	5.69	6.04	6.40
計算式等	(直結増圧式給水件数/給水件数)×100	実績値	5.83	6.22	6.61	
検証結果	広報活動を実施するとともに、「直結増圧式給水方式」への切替え希望者に対して適切な対応を行うことで、いずれの指標も実績値が目標値を上回りました。					

II 強靱

基本政策	施策	事業名称
2 安定・快適な水道水の供給	2-1 水道施設の更新	2-1-1 浄配水場施設の更新
		2-1-2 老朽化管路の計画的更新
	2-2 配水管網の強化	2-2-1 配水管のネットワーク化の推進
		2-2-2 効率的な管路の拡張・充実
	2-3 維持管理の充実	2-3-1 浄配水場の適切な維持管理
		2-3-2 管網の適切な維持管理
	2-4 維持管理の充実	2-4-1 漏水調査・漏水対策
		2-4-2 老朽給水管布設替の推進
		2-4-3 私道内給水管布設替整備補助の促進

基本政策	施策	事業名称
3 災害対策の推進	3-1 震災対策の強化	3-1-1 水道施設の耐震化
		3-1-2 応急給水・復旧体制の整備
		3-1-3 災害用資器材の整備
	3-2 危機管理体制の確立	3-2-1 テロ対策の強化
		3-2-2 濁水対策の強化
		3-2-3 水道事故対策の強化
		3-2-4 災害対応の強化

自然災害等による被害を最小限にとどめるため、施設整備を進めるとともに、機器管理体制を強化します。

基本政策 2 安定・快適な水道水の供給

快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。

基本政策 3 災害対策の推進

地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。

2-1-1 浄配水場施設の更新

事業目的	・施設更新基本計画に基づき、浄配水場施設の更新工事を実施します。更新にあたっては、将来の水需要に応じた施設規模の適正化を図ります。					
事業目標	・施設更新基本計画に基づき、浄配水場施設の更新工事を実施します。					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	4,860,061	4,094,950	4,632,247	2,661,566		
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度	
	計画額(千円)		1,144,114	1,806,951	1,908,995	
	当初予算額(千円)		1,255,706	1,438,971	1,400,273	
	予算現額(千円)		1,008,837	1,687,236	1,936,174	
	決算額(千円)		687,241	697,498	1,276,827	
	指標 (項目)	浄水施設の耐震化率(%)	目標値	48.9	48.9	48.9
			実績値	48.9	48.9	48.9
	計算式等	(耐震対策の施された浄水施設能力/全浄水施設能力)×100				
	指標 (項目)	ポンプ所の耐震化率(%)	目標値	66.9	66.9	66.9
			実績値	66.9	66.9	66.9
計算式等	(耐震対策の施されたポンプ所能力/耐震化対象ポンプ所能力)×100					
指標 (項目)	配水池の耐震化率(%)	目標値	74.6	77.4	76.6	
		実績値	74.6	76.6	76.6	
計算式等	(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量)×100					
検証結果	<p>工事内容の変更や、中止・延期はあったものの、必要な工事については概ね計画どおり完了しました。</p> <p>浄水施設の耐震化率及びポンプ所の耐震化率については、目標値どおりの進捗です。</p> <p>配水池の耐震化率については、令和5年度に神根浄水場第2配水池を耐震化した結果、実績値が上昇しましたが、耐震化によって有効容量が減った影響で、目標値を下回りました。令和6年度の目標値は、有効容量を加味した値に修正を行いました。</p> <p>事業費については、継続事業の各年の予算額を次年度に繰り越しているため、決算額が当初予算額を下回っており、予算現額が増額になりました。</p> <p>令和4年度及び令和5年度については、当初予定していた委託の取りやめや、次年度への繰越が発生していたため、各年度の決算額が予算額を下回りました。</p> <p>なお、令和6年度については、令和4年度からの3カ年継続事業の事業費が令和6年度まで繰り越されたことにより、予算現額が当初予算額を上回りました。</p>					

2-1-2 老朽化管路の計画的更新

事業目的	・強靱性の低い高級鋳鉄管等や法定耐用年数を超えるダクタイル鋳鉄管等の老朽管を、施設更新基本計画および老朽度診断結果等に基づき耐震管へ更新します。					
事業目標	・高級鋳鉄管やダクタイル鋳鉄管等の老朽管を耐震管へ更新します。					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	9,400,399	10,066,827	10,066,827	8,720,018		
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度	
	計画額(千円)		3,383,481	3,014,467	3,002,451	
	当初予算額(千円)		3,440,852	3,320,948	3,305,027	
	予算現額(千円)		3,440,852	3,320,948	3,305,027	
	決算額(千円)		2,905,245	2,796,962	3,017,811	
	指標 (項目)	管路の更新率(%)	目標値	0.81	1.06	1.09
			実績値	0.85	0.93	0.97
	計算式等	(更新された管路延長/管路延長) × 100				
	指標 (項目)	管路の耐震管率(%)	目標値	26.4	27.8	29.2
			実績値	26.3	27.5	28.7
計算式等	(耐震管延長/管路延長) × 100					
指標 (項目)	基幹管路の耐震管率(%)	目標値	86.3	87.2	88.3	
		実績値	84.9	85.5	85.8	
計算式等	(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長) × 100					
検証結果	<p>高級鋳鉄管及び経年管の更新を計画的に行い、概ね計画どおりの進捗となりました。</p> <p>基幹管路の更新・耐震化については、国の方針に基づいて優先的に進めた結果、一定の成果を得ることができました。この成果を踏まえ、基幹管路の更新・耐震化のペースを調整し、配水支管の更新・耐震化に重点を置いたため、基幹管路の耐震管率に比べて、管路全体の耐震管率が向上する結果となりました。また、令和4年度・令和5年度は翌年度に繰り越した工事があることから、決算額が予算額を大きく下回りました。</p>					

2-2-1 配水管のネットワーク化の推進

事業目的	・市内全域を網羅している配水管網を、拠点浄配水場を軸とした5つのエリアに基幹ブロック(大ブロック)化し、水圧や流量などの快適性の向上を図ります。また、非常時には、断水範囲を最小限に食い止めるとともに、被害区域内を集中的に補修し、早期に復旧するためのネットワークを構築します。					
事業目標	・5つの基幹ブロックのうち、石神配水場を拠点とする石神ブロックを構築します。 ・石神ブロック構築に伴う低水圧の解消・水圧向上のため、配水管を補強します。 ・石神ブロック構築のため、既存仕切弁調査及び仕切弁等の新設工事を実施します。					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	675,000	815,160	815,160	691,713		
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度	
	計画額(千円)		415,000	85,000	175,000	
	当初予算額(千円)		506,767	108,902	199,491	
	予算現額(千円)		506,767	108,902	199,491	
	決算額(千円)		475,465	77,186	139,062	
	指標 (項目)	補強管整備率(%)	目標値	76.1	78.1	91.8
	計算式等	(補強管布設延長/補強管布設必要延長)×100	実績値	69.0	69.5	85.7
	指標 (項目)	仕切弁設置率(%)	目標値	86.2	89.7	89.7
	計算式等	(仕切弁設置数/仕切弁設置必要数)×100	実績値	89.7	93.1	93.1
	指標 (項目)	仕切弁閉止率(%)	目標値	71.4	73.8	76.2
計算式等	(仕切弁閉止数/仕切弁閉止必要数)×100	実績値	71.4	73.8	76.2	
検証結果	<p>ブロック化事業においては、ブロック化による水圧の変化や濁り水の発生リスク等を踏まえた詳細な調査の結果、当初の計画より変更が生じましたが、ブロック化事業全体の進捗としては概ね予定どおりとなります。予算額と決算額との差は、主に工事費の契約差金によるものです。</p> <p>指標についても、計画変更による影響が生じており、補強管整備率については、補強管必要延長を見直したため、目標値を下回る実績となりましたが、仕切弁設置率、仕切弁閉止率含め、実際のブロック化事業全体の進捗としては概ね予定どおりとなります。</p>					

2-2-2 効率的な管路の拡張・充実

事業目的	・安全・安心な水道水を安定して供給するため、管網未整備路線等に配水管を整備します。					
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業施行地区の管網未整備路線等に配水管を整備します。 ・都市計画道路や道路事業等により道路が新たに整備された箇所等に配水管を整備します。 ・給水件数過多等による出水不良の路線やポリエチレン管等が布設されている路線に配水管を整備します。 					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	2,410,593	2,266,298	2,266,298	2,109,445		
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度	
	計画額(千円)		803,531	803,531	803,531	
	当初予算額(千円)		716,218	773,537	776,543	
	予算現額(千円)		716,218	773,537	776,543	
	決算額(千円)		710,733	650,006	748,706	
	指標 (項目)	【再掲】管路の耐震管率(%)	目標値	26.4	27.8	29.2
			実績値	26.3	27.5	28.7
	計算式等	(耐震管延長/管路延長)×100				
	指標 (項目)	整備実施率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0
			実績値	89.5	97.6	97.6
計算式等	(実施路線数/要望・必要路線数)×100					
検証結果	<p>区画整理施行者の街路築造工事の遅れ等により、指標である整備実施率は目標に達していないものの、工事施工にあたっては、施工方法、施工体制を確認し、大きな事故等もなく完了しました。</p> <p>また、全ての年度において、区画整理施行者の街路築造工事の遅れ等により、当該年度中の施工ができなくなったことから、予算額、決算額が計画額を下回りました。</p>					

2-3-1 浄配水場の適切な維持管理

事業目的	・浄配水場設備の適切な維持管理を図るとともに、配水量の変化に応じた適切な運転管理を継続します。					
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・浄配水場施設設備の経年劣化に対し、計画的な整備を実施するとともに、不測の機器故障等に対しても、迅速に対応します。 ・適切な運転管理により、安定、確実な配水を行います。 					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	815,217	838,037	836,926	786,484		
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度	
	計画額(千円)		270,656	272,263	272,298	
	当初予算額(千円)		271,600	263,591	302,846	
	予算現額(千円)		270,489	263,591	302,846	
	決算額(千円)		253,692	253,988	278,804	
	指標 (項目)	浄水場事故割合(件)	目標値	0.0	0.0	0.0
			実績値	0.0	0.0	0.0
	計算式等	(10年間の浄水場停止事故件数/浄水場数)				
	検証結果	<p>機器の故障に対し、原因を確認し適切な修繕を行うことにより被害を最小限に留めるとともに、設備更新時においても適切な運転管理を行い、期間を通じて安定、確実な配水を行いました。</p> <p>事業費では、令和4年度については、令和3年度からの繰越で当初予算から予算現額が下回りましたが、令和5、6年度については、委託内容の見直し等により費用を抑えたことで、結果的には決算額と計画額の差は小さくなりました。</p>				

2-3-2 管網の適切な維持管理

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・管網の適切な維持管理を図るため、マッピングシステムを活用し漏水調査を行い、漏水修理などを実施します。 ・水道事故や漏水の早期復旧に対応するため、給水台帳を整備します。 				
事業目標	・マッピングシステムを活用し、最新かつ確実な配水管等々の情報管理を行います。				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	232,815	240,063	240,063	231,630	
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		77,605	77,605	77,605
	当初予算額(千円)		77,087	80,755	82,221
	予算現額(千円)		77,087	80,755	82,221
	決算額(千円)		76,731	80,128	74,771
検証結果	<p>マッピングシステムのデータ更新及び管網解析システムの整備を行い、精度を向上させました。また、マッピングシステムの管理マニュアルを整備しました。</p> <p>事業費について、令和5年度は、インボイス制度に対応するため給水装置工事窓口受付システムの改修が発生したことから、決算額が計画額を上回りました。</p> <p>令和6年度は、令和7年度のマッピングシステム入替に伴うデータ抽出委託が発生したことから予算額が計画額を上回りましたが、マッピングデータ入力委託で給水台帳のデータ入力件数が見込みよりも減少したことから、決算額が計画額を下回りました。</p>				

2-4-1 漏水調査・漏水対応

事業目的	・漏水の早期発見・早期修理により、漏水率の低減を目指します。					
事業目標	・漏水調査の実施により、漏水を早期発見・早期修理することで、漏水率を低減します。					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	2,498,965	2,429,265	2,429,265	2,092,009		
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度	
	計画額(千円)		822,773	872,473	803,719	
	当初予算額(千円)		831,938	830,588	766,739	
	予算現額(千円)		831,938	830,588	766,739	
	決算額(千円)		584,319	758,827	748,863	
	指標 (項目)	漏水率(%)	目標値	6.1	6.0	5.9
	計算式等	(年間漏水量/年間配水量)×100	実績値	5.7	6.0	7.1
検証結果	<p>漏水発生件数や通報から修理完了までに要した時間に関して、期間中大きな変化はありませんが、漏水率が年々悪化しており、その原因に関して検証作業を進めています。</p> <p>材料費及び人件費の高騰により令和4年度は予算額が計画額を上回りましたが、令和5年度・令和6年度については計画額内に収まりました。計画額、予算額、決算額の差は、契約差金及び漏水修繕に要する費用が想定より少なかったことによるものです。</p>					

2-4-2 老朽給水管布設替の推進

事業目的	・漏水発生頻度が高い私道内の老朽給水管の布設替えを行うとともに、配水管の布設替工事等に合わせ、給水管をステンレス鋼管等に切替えるなど、漏水率の低減を図ります。				
事業目標	・「老朽給水管布設替計画」に基づき、私道820路線の給水管を布設替えします。 ・新設、更新される配水管に付帯する切替箇所をステンレス鋼管に布設替えし、漏水防止や出水不良の解消を図ります。 ・配水管橋梁添架箇所について、配水管を塗装し保全を図ります。				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	2,854,751	3,081,068	3,081,068	2,812,201	
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		1,014,195	923,200	917,357
	当初予算額(千円)		1,001,589	1,056,534	1,022,945
	予算現額(千円)		1,001,589	1,056,534	1,022,945
	決算額(千円)		865,767	954,934	991,500
	指標 (項目)	【再掲】漏水率(%)	目標値	6.1	6.0
計算式等	(年間漏水量/年間配水量)×100	実績値	5.7	6.0	7.1
検証結果	<p>配水管新設・布設替工事に伴う給水管切替えや、宅地内給水管をステンレス管へ切替えることを進めていますが、漏水率は、この期間中3年間悪化しています。その原因に関しては検証作業を進めていますが、引き続き漏水発生を減らす対策を進めていきます。</p> <p>令和4年度は給水切替委託及び給水切替工事が想定件数よりも少なかったことにより、予算額と決算額が計画額を下回りました。令和5年度・令和6年度は材料費及び人件費の高騰を見込んだことにより、予算額、決算額が計画額を上回りました。なお、各年度の予算額と決算額の差は、契約差金によるものです。</p>				

2-4-3 私道内給水管布設替整備補助の促進

事業目的	・補助金を交付することにより私道内の給水管布設替整備工事を促進し、給水管の老朽化に伴う出水不良および漏水多発等の解消に努め、給水の安定と漏水率の低減を図ります。				
事業目標	・令和10年度までに、補助金交付による私道内給水管布設替工事を5,000m実施します。				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	90,000	60,000	60,000	12,501	
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		30,000	30,000	30,000
	当初予算額(千円)		20,000	20,000	20,000
	予算現額(千円)		20,000	20,000	20,000
	決算額(千円)		7,272	3,285	1,944
	指標 (項目)	私道内給水管布設替延長(m)	目標値	500.0	500.0
計算式等		実績値	188.3	98.1	51.1
検証結果	<p>補助金の要綱改正により通知書等の様式を変更し、利便性の向上を図りました。</p> <p>また、上下水道広報誌への記事掲載や、窓口でのチラシ配布など利用促進の広報を行うとともに、事前相談・申請に対し十分な打合せと審査を行い、円滑に事業を進めました。</p> <p>事前相談は多くあるものの申請に至らないものも多く、指標である私道内給水管布設替延長の目標に達していません。今後、更なる広報手段を検討していきます。</p>				

3-1-1 水道施設の耐震化

事業目的	・地震等の災害発生時においても市民の救護活動等に支障をきたすことのないよう、浄配水場から重要給水施設(災害拠点病院および救急告示医療機関)への配水ルートを優先的に耐震化します。					
事業目標	・重要給水施設(災害拠点病院および救急告示医療機関)への配水ルートの耐震化を進め、令和10年度までに重要給水施設配水管路の耐震管率を93.7%とします。					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	999,315	847,673	847,673	611,703		
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度	
	計画額(千円)		350,511	287,425	361,380	
	当初予算額(千円)		367,892	307,696	172,085	
	予算現額(千円)		367,892	307,696	172,085	
	決算額(千円)		208,995	235,035	167,673	
	指標 (項目)	重要給水施設配水管路の耐震管率(%)	目標値	76.9	80.1	85.0
	計算式等	(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長/重要給水施設配水管路延長)×100	実績値	76.8	77.6	78.3
検証結果	令和4年度・令和5年度の当初予算額は、管材費・労務費の高騰を見込んだ予算単価としていましたが、想定より価格高騰が緩やかであったことから、決算額が予算額を大きく下回りました。 令和6年度は計画延長の見直し等により、実績値が目標値を下回りましたが、全体事業目標としては概ね計画どおりの進捗です。					

3-1-2 応急給水・復旧体制の整備

事業目的	・災害時や非常時の応急給水・復旧体制を整備し、情報収集機能の強化、関係団体等との連携強化など、社会基盤の一翼を担う水道事業体として対応策の強化を図ります。					
事業目標	・災害時や非常時に備え、応急給水及び復旧訓練を実施し、災害時対応マニュアルを適宜更新します。 ・水道災害相互応援(四市)協定及び日本水道協会等の関係団体との連携強化を図ります。					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	525	536	536	14		
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度	
	計画額(千円)		175	175	175	
	当初予算額(千円)		170	169	197	
	予算現額(千円)		170	169	197	
	決算額(千円)		4	5	5	
	指標 (項目)	給水人口一人当たり貯留飲料水量(ℓ)	目標値	146	145	145
	計算式等	$\frac{[(\text{配水池有効容量}(\text{緊急貯水槽容量を除く}) \times 1/2 + \text{緊急貯水槽容量}) \times 1,000]}{\text{現在給水人口}}$	実績値	147	141	141
	指標 (項目)	応急給水施設密度(箇所/100km ²)	目標値	42	42	42
	計算式等	$(\text{応急給水施設} / \text{現在給水面積}) \times 100$	実績値	42	39	42
	指標 (項目)	災害対策訓練実施回数(回)	目標値	13	13	13
計算式等		実績値	12	14	12	
検証結果	<p>災害時対応マニュアルの策定や局内訓練により、応急給水及び災害復旧作業の手順や課題を確認しました。また、水道災害相互応援四市連絡協議会において、資機材等の情報共有を行いました。</p> <p>事業費については、災害時支援協力員への支給物品費やボランティア保険料、マニュアル印刷代、文書の郵送代などを見込んでいましたが、令和4年度から令和6年度はボランティア保険料のみの執行となっており、災害支援協力員の登録者数も見込みより少なかったことから、決算額が計画額を大きく下回りました。</p>					

3-1-3 災害用資機材の整備

事業目的	・災害時に効率的かつ効果的な応急給水、災害復旧作業が行えるよう資機材等の整備を進めます。				
事業目標	・応急給水、災害復旧作業を滞りなく行えるよう、定期的に災害用資機材の保守点検を行います。 ・各指定給水所等に災害用備蓄ボトル水を配備します。				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	27,222	30,628	30,628	26,550	
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		9,016	9,016	9,189
	当初予算額(千円)		9,100	10,596	10,932
	予算現額(千円)		9,100	10,596	10,932
	決算額(千円)		8,035	9,095	9,420
検証結果	<p>災害用備蓄ボトル水を製造し、指定給水所へ配備するとともに、給水袋など災害用資機材の追加購入を行いました。</p> <p>また、応急給水、災害復旧作業を滞りなく行えるよう、発電機の保守点検を実施しました。</p> <p>事業費については、人件費の高騰や災害用備蓄ボトル水などの購入本数が増加となったことから、令和5年度、6年度は予算額、決算額が計画額を上回りました。</p>				

3-2-1 テロ対策の強化

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 水道施設に毒物投入などのテロ攻撃を受けると、市民生活や経済活動を脅かす事態となることから、テロ行為抑止のため、水道施設の警備強化および水質監視体制の強化を図ります。 緊急時の飲料水の供給体制、関係団体等との連携などの対策強化を図ります。 				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 浄配水場の機械警備や侵入者防止対策を強化します。 テロが発生した場合の緊急措置、応急給水、応急復旧等を迅速かつ的確に実施できる体制を整備するとともに、関係団体等との連携強化を図ります。 				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	61,475	115,809	115,809	114,277	
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		20,492	20,492	20,492
	当初予算額(千円)		23,176	70,008	22,625
	予算現額(千円)		23,176	70,008	22,625
	決算額(千円)		23,000	68,652	22,625
	指標 (項目)	応急給水訓練の実施(回)	目標値	2	2
計算式等	災害対策本部における応急給水班の訓練回数	実績値	3	3	3
検証結果	<p>高度機械警備体制を維持し、浄配水場の安全を確保しました。</p> <p>上下水道局内の連携強化を図るため、応急給水班と管路復旧班で応急給水訓練を実施しました。</p> <p>指標については、応急給水活動に必要な資機材の点検、組み立て及び段ボール製貯水槽への運搬給水訓練等の実践的な防災訓練の実施回数を増やしたことにより、目標値以上の実績値となりました。</p> <p>事業費については、人件費の高騰により時間外受付・庁舎警備委託料、浄配水場警備委託料が増加していることや、令和5年度に上青木浄水場北・西側フェンス改修工事を実施したことにより、予算額、決算額が計画額を上回りました。</p>				

3-2-2 渇水対策の強化

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 水源となるダム貯水量等の情報収集を行い、渇水時においても、安定した水道水の供給に努めます。 					
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 渇水時における対応が滞りなく行えるよう、渇水対策マニュアルを適宜更新します。 渇水時における緊急措置、応急給水等を迅速かつ的確に実施できる体制を整備するとともに、関係団体等との連携強化を図ります。 県との連携のもと、常に水源情報等を収集し、情報提供を行います。 					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	0	0	0	0		
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度	
	指標 (項目)	【再掲】応急給水訓練の実施(回)	目標値	2	2	2
	計算式等		実績値	3	3	3
検証結果	<p>ダム貯水量、水源地降水量、積雪量等の情報収集を行い、渇水状況の注視に努めました。</p> <p>水源情報、水源地積雪状況および気象庁長期予報等を収集しました。</p>					

3-2-3 水道事故対策の強化

事業目的	・配水管の布設工事等において、不測の事故が起こらないよう防止策を講じます。また、事故発生時には、迅速な対応に努めます。					
事業目標	・過去の水道事故の原因究明および事故後対応の課題を検証するとともに、水道事故対応マニュアル等を適宜更新します。					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	0	0	0	0		
年度毎の設定項目	指標 (項目)	【再掲】浄水場事故割合(件)	目標値	0.00	0.00	0.00
	計算式等		実績値	0.00	0.00	0.00
		10年間の浄水場停止事故件数/浄水場数				
	指標 (項目)	管路の事故割合(件)	目標値	0.0	0.0	0.0
	計算式等		実績値	1.0	0.6	0.6
		(管路の事故件数/管路延長)×100				
	指標 (項目)	基幹管路の事故割合(件)	目標値	0.0	0.0	0.0
	計算式等		実績値	0.0	0.0	0.0
		(基幹管路の事故件数/基幹管路延長)×100				
	指標 (項目)	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間(時間)	目標値	0.00	0.00	0.00
計算式等	実績値		0.01	0.00	0.00	
	$\Sigma(\text{断水・濁水時間} \times \text{断水・濁水区域給水人口}) / \text{現在給水人口}$					
検証結果	<p>各年度に発生した事故の情報について収集、集計しました。</p> <p>指標については、各年度で管路の事故や濁水が発生しており、引き続き老朽管路の更新を推進する必要があります。なお、管路の事故については、老朽化に伴う漏水のほか、消火活動や工事の影響によるものが主な要因です。</p>					

3-2-4 災害対応の強化

事業目的	・市民生活や経済活動に不可欠の重要なライフラインを担う水道事業体として、あらゆる脅威や非常時へ対応するため、体制整備を図ります。					
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザやノロウイルス等感染症に関する情報を収集し、組織内において情報を共有するとともに、感染症予防を図るための研修を実施します。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、埼玉県の水質検査結果とともにホームページに掲載します。 ・各浄配水場の自家発電設備の整備を行うほか、自家発電設備に必要な石油燃料を確保します。 ・停電による浄配水場の通信機能の停止を想定した手動運転訓練を行うとともに、緊急時対応マニュアルを適宜更新します。 					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	923	903	1,007	969		
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度	
	計画額(千円)		285	285	354	
	当初予算額(千円)		273	243	387	
	予算現額(千円)		273	347	387	
	決算額(千円)		254	347	368	
	指標 (項目)	感染症予防講習会の実施(回)	目標値	1	1	1
			実績値	1	1	1
	計算式等					
	指標 (項目)	水道水における放射性物質の情報提供(回)	目標値	4	4	4
			実績値	4	4	4
	計算式等					
	指標 (項目)	燃料備蓄日数(日)	目標値	0.4	0.4	0.4
			実績値	0.4	0.4	0.4
	計算式等	平均燃料貯蔵量/一日燃料使用量				
指標 (項目)	停電時配水量確保率(%)	目標値	78.4	78.4	78.4	
		実績値	88.2	77.8	78.9	
計算式等	(全施設停電時に確保できる配水能力/一日平均配)					
検証結果	<p>新型インフルエンザ等の感染症について、職員及び委託関係者を対象に予防講習会を開催し、感染症予防に関する知識の強化を図りました。</p> <p>また、非常時を想定した訓練や、非常用自家発電設備の点検等により災害対応の強化を図りました。</p> <p>令和4年度の停電時配水量確保率は、石神配水場が一時的に県水受水量が高かったため実績値が上回っています。他の指標は、目標どおりとなりました。</p> <p>事業費については、令和5年1月から衛星携帯電話サービスの月額使用料が値上げされたことにより、令和5年度、6年度は予算額、決算額が計画額を上回りました。</p>					

Ⅲ 持続

基本政策	施策	事業名称
4 サービスの向上	4-1 お客様サービスの向上	4-1-1 お客様センターの利便性の向上
		4-1-2 サービスの多様化
		4-1-3 情報資産の管理と情報提供の推進
		4-1-4 水道事業 PR とお客様の声の反映

基本政策	施策	事業名称
5 社会・環境との調和	5-1 地域社会との協働	5-1-1 地域社会との連携強化
	5-2 資源の有効利用と環境負荷の軽減	5-2-1 資源・エネルギーの有効活用

基本政策	施策	事業名称
6 経営基盤の強化	6-1 財政基盤の強化	6-1-1 水道料金の継続的検討
		6-1-2 収納率の向上
		6-1-3 資産・資金管理の効率化
	6-2 組織能力の向上	6-2-1 適正な組織・職員配置
		6-2-2 人材の育成
	6-3 経営体制の強化	6-3-1 中期経営計画の運用
6-3-2 広域連携の強化		

社会の一員として環境負荷の低減に取り組むとともに、経営基盤の強化を図り、持続可能な事業運営を目指します。

基本政策 4 サービスの向上

信頼される水道サービスであるために、お客様に正確・迅速・丁寧に対応するとともに、お客様ニーズの把握によりサービスを充実し、積極的な情報提供により相互理解を深め、お客様の満足度を高めます。

基本政策 5 社会・環境との調和

水道事業を通じて、社会との調和を実現するために、社会貢献活動に積極的に取り組みます。また、限りある自然環境を未来に残せるよう環境と調和した事業を推進します。

基本政策 6 経営基盤の強化

将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。

4-1-1 お客様センターの利便性向上

事業目的	・上下水道局お客様センターの利便性の向上を図るため、継続的に機能の検証を行います。また、窓口でのご意見やご要望などのお客様の声を業務に反映させ改善に努めます。				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様センターの検針・収納業務における機能検証を毎年行います。 ・お客様の意見や要望等をデータベース化し、窓口業務等に反映します。 ・外国人に対する窓口対応能力の向上を図ります。 ・インターネットを利用した使用開始、中止の届け出方法を継続的に実施します。 				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	2,047,275	2,029,499	2,029,748	2,020,849	
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		670,432	679,329	697,513
	当初予算額(千円)		671,620	679,354	678,525
	予算現額(千円)		671,620	679,354	678,774
	決算額(千円)		665,217	676,880	678,752
	指標 (項目)	料金請求誤り割合(件)	目標値	0.00	0.00
計算式等	(誤料金請求件数/料金請求件数)×1,000	実績値	0.09	0.13	0.14
検証結果	<p>インターネットを利用した使用開始・中止等の届出件数については、継続的な広報等により、年々増加しています。令和4年度には引越しワンストップサービスを導入し、使用開始・中止等の届出方法を拡充しました。</p> <p>また、NTTと連携し、通訳サービスを導入済みであり、外国語に対応した転入・転出者へのチラシ配布を行うことで、外国人に対する窓口対応能力の向上を図りました。</p> <p>事業費については、主に検針・収納等業務委託料であり、決算額は計画額に収まりました。</p>				

4-1-2 サービスの多様化

事業目的	・お客様の利便性を高めるため、多様化するお客様ニーズを把握し、サービスの充実に努めます。				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱金融機関(3年に1行程度)の拡大を図ります。 ・スマートフォン決済の取り扱いブランドを拡充します。 ・業務の効率化、漏水の早期発見、見守り事業につながる自動検針システムについて調査研究します。 				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	179,659	177,558	177,558	171,999	
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		58,764	60,217	60,678
	当初予算額(千円)		57,809	57,400	62,349
	予算現額(千円)		57,809	57,400	62,349
	決算額(千円)		53,831	57,208	60,960
	指標 (項目)	取扱金融機関数(行)	目標値	25	25
計算式等		実績値	25	25	25
検証結果	<p>令和2年9月からクレジットカード決済を含むキャッシュレス決済を導入・促進し、利用者が大幅に増加しました。</p> <p>また、口座振替割引制度の導入により、納期限内の納付割合も増加しました。</p> <p>令和6年度においては、コンビニ、スマートフォン、クレジットカード決済の利用が見込みよりも多かったことから、予算額と決算額が計画額を上回りました。</p>				

4-1-3 情報資産の管理と情報提供の推進

事業目的	・個人情報の管理を徹底し、漏えい防止のため万全の体制整備を図ります。また、川口市情報公開制度の厳格運用を継続するとともに、積極的かつ迅速に、わかりやすい情報発信に努めます。				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・川口市個人情報保護条例(令和6年度からは個人情報の保護に関する法律)、川口市情報セキュリティポリシーの厳格運用を継続します。 ・委託業者選定にあたっては、個人情報保護の徹底および全従業員に対する指導・研修を必須項目とします。 ・予算や決算など財務状況を公表するとともに、年次報告書等の発行を通じて、お客様と水道事業に関する情報の共有化を図ります。 				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	110	165	171	171	
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		37	37	37
	当初予算額(千円)		53	54	58
	予算現額(千円)		54	55	62
	決算額(千円)		54	55	62
	指標 (項目)	個人情報漏えい事故発生件数(件)	目標値	0	0
計算式等		実績値	0	0	0
検証結果	<p>川口市個人情報保護条例(令和6年度からは個人情報の保護に関する法律)、川口市情報セキュリティポリシーを厳格運用するとともに、上下水道局新任職員や委託業者に対し、個人情報保護についての研修・指導を行ったことなどにより、個人情報漏えい事故発生件数は0件でした。</p> <p>事業費については、水道事業、下水道事業で個別に作成していた年次報告書を、令和3年度からは「上下水道事業年次報告書」として統合した形で作成していることや、印刷単価の増額により、予算額・決算額が計画額を上回りました。</p>				

4-1-4 水道事業 PR とお客様の声の反映

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> お客様の水道事業への理解を促進するため、ホームページ、広報誌、各種イベントにおけるPR活動等により、積極的な情報発信に努めます。 市民意識調査やアンケート等によりお客様の意見を収集し、お客様ニーズの的確な把握とお客様の意見を水道事業に反映させるため、広報・広聴体制を推進します。 				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道局ホームページを引き続き運用し、内容の充実に努めます。 広報誌の発行を通じて水道事業の取組みなどをお知らせし、情報共有に努めます。 水道事業に関する意見を広く収集し事業展開に活かすため、定期的な市民意識調査やホームページ、各種イベント会場でのアンケートを実施します。 市内小学4年生対象の水道ポスターコンクールを実施し、水道への親しみや理解を深めていきます。 				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	24,803	22,529	22,514	20,408	
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		11,101	8,335	5,368
	当初予算額(千円)		8,104	8,319	6,106
	予算現額(千円)		8,104	8,319	6,091
	決算額(千円)		6,722	8,096	5,590
	指標 (項目)	広報誌による情報の提供度(部)	目標値	1.5	1.5
計算式等	広報誌などの配布部数/給水件数	実績値	1.3	1.3	1.3
検証結果	<p>広報誌を毎年度2回発行したほか、イベント出展やポスターコンクールにより、情報発信、水道事業のPRを行いました。また、市民意識調査やホームページアンケートを実施し、市民ニーズの把握に努めました。</p> <p>事業費について、令和4年度は、水道事業70周年記念として計画していた事業の一部を取り止めたため、予算額・決算額が計画額を下回りました。また、令和6年度は、紙代・電気代高騰の影響により上下水道広報誌の発行費が増額となったため、予算額・決算額が計画額を上回りました。</p>				

5-1-1 地域社会との連携強化

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の水道事業への正しい理解を促進するため、浄水場や水道庁舎を活用し、「水道」について学習する環境を整えます。 ・市民の皆様との積極的なコミュニケーションを通し、水道事業への理解と協力を促します。 ・地域住民との災害訓練等の場を捉え、防災対策の促進を図るとともに、地域との連携強化を図ります。 					
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・水の学習会(浄水場・ダム等の見学会)事業を継続して実施します。 ・水道学習用パンフレットを継続的に更新します。 ・市内のイベントに出展し、市民の皆様とのコミュニケーションを通して水道事業への理解と協力を促します。 					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	1,608	1,987	1,987	1,111		
年度毎の 設定項目	計画額(千円)		4年度	5年度	6年度	
	当初予算額(千円)		419	771	419	
	予算現額(千円)		528	847	612	
	決算額(千円)		528	847	612	
	指標 (項目)	水道施設見学者割合(人)	目標値	0.10	0.60	0.10
			実績値	0.00	0.08	0.12
	計算式等		(見学者数/現在給水人口)×1,000			
	指標 (項目)	イベント出展回数	目標値	2	2	2
			実績値	3	3	3
	計算式等					
検証結果	<p>水の学習会については、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大により、中止となりましたが、令和5年度は、鹿沼市との共催、令和6年度は、計画通りの規模で開催することができました。また、令和5年度は、市民向けの市内上下水道施設見学会を開催しました。</p> <p>学習用パンフレットについては、毎年、市内の小学4年生や、学習会等の参加者に配布したほか、令和5年度には、内容の更新と印刷を行いました。</p> <p>予算額については、パンフレットの配送委託、施設見学会の費用を計画時には見込んでいなかったことにより、計画額と差が生じました。</p> <p>決算額については、水の学習会の中止(R4)や費用負担なし(R5)などにより、計画額・予算額を下回りました。</p>					

5-2-1 資源の有効利用と環境負荷の軽減

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・電力消費量削減のため、施設の更新時に高効率型設備や省エネルギー型設備を導入します。 ・これまで公用車へのハイブリッド自動車・電気自動車の導入により削減してきた燃料使用量を今後も維持します。 ・循環型社会構築のため、建設発生土などの再生資源を有効活用します。 				
事業目標	・公用車の燃料使用量は、平成27年度から平成29年度実績の平均値(15,400L)を維持します。				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	7,863	8,105	8,105	6,326	
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		2,621	2,621	2,621
	当初予算額(千円)		2,440	2,621	3,044
	予算現額(千円)		2,440	2,621	3,044
	決算額(千円)		2,159	2,114	2,053
	指標 (項目)	公用車燃料使用量の維持(ℓ)	目標値	15,400	15,400
計算式等	(平成27～29年度の平均使用量)	実績値	12,692	12,005	11,457
検証結果	<p>公用車入替えの際にハイブリッド自動車・電気自動車の導入に努めたほか、省エネ運転の周知により、指標である公用車燃料使用量については、期間内すべての年度で目標値を下回りました。</p> <p>事業費の内容は自動車燃料費であり、計画額と予算額との差は燃料費単価の変動によるもの、予算額と決算額との差は燃料使用量を抑えたことによるものです。</p>				

6-1-1 水道料金の継続的検討

事業目的	・給水収益の減少や水道施設の老朽化など、厳しい経営環境の中でも、安全・安心な水道水を安定してお届けするために、適切な水道料金と料金体系を検討します。			
事業目標	・他事業体の水道料金の調査・分析、大口需要者の把握とあわせ、施設の更新計画や水需要動向の変化に対応した適正な料金水準、料金体系について、定期的に検証を行います。			
財務概況	令和4年度～6年度の総額			
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)
	0	0	0	0
検証結果	中核市及び県内事業体の水道料金に関する情報を収集・研究し、水道料金改定の検討材料としました。また、新たな水需要予測と給水収益の推計を行い、経営戦略の改訂に活用しました。			

6-1-2 収納率の向上

事業目的	・財政基盤を強化するとともに、料金負担の公平性を確保するため、収納率の向上を図ります。					
事業目標	・キャッシュレス決済の利用を促進します。 ・現年度、過年度ともに収納率を高い水準で維持するよう、効果的な手法について検討します。					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	297	99	99	0		
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度	
	計画額(千円)		99	99	99	
	当初予算額(千円)		99	0	0	
	予算現額(千円)		99	0	0	
	決算額(千円)		0	0	0	
	指標 (項目)	収納に占めるキャッシュレス決済利用率 (%)	目標値	70.00	71.80	72.34
	計算式等	(現年度キャッシュレス決済による収納件数/現年度	実績値	71.50	72.04	73.71
	指標 (項目)	過年度収納率(%)	目標値	91.39	94.55	94.38
	計算式等	(過年度収納額/過年度調定額)	実績値	94.55	94.38	95.53
	検証結果	キャッシュレス決済の利用率はいずれの年度も目標値を上回っており、年々増加しています。過年度収納率は、令和2年9月に導入したキャッシュレス決済の促進や、未収金回収業務委託により、高い収納率を維持しています。 事業費の内容は口座振替促進キャンペーンのための消耗品費であり、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大を受け、物品の配布を行っていません。				

6-1-3 資産・資金管理の効率化

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な水道事業を実現するために、アセットマネジメントの手法を活用した効率的な資産管理に努めます。 ・将来にわたり健全な経営に資するため、安全性、流動性を確保した資金管理を行います。 ・中長期的な資金需要を把握し、事業規模に見合った企業債の借入を行うことで、過度に借入金に依存することのない持続可能な財政運営に努めます。 ・庁内 LAN により情報資産を効率的かつ適正に管理・運用するとともに、情報セキュリティマネジメントによりウイルス感染など様々なリスクにおける被害を最小限にとどめます。 				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・水需要予測を踏まえ、施設更新基本計画に基づいた施設の統廃合、ダウンサイジングを実施し、適正な施設規模とします。 ・アセットマネジメントの手法を用い、中長期的な更新需要に基づいて、施設の更新費用を平準化・最適化し、維持管理の効率化を図ります。 ・安定した財政運営のため、自己資金を確保し、企業債の借入額は適正な水準を維持します。 ・庁内LAN関係機器について、計画的に更新を進めます。 				
財務概況	令和4年度～6年度の総額				
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	
	88,658	116,476	116,476	107,613	
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)		29,453	29,569	29,635
	当初予算額(千円)		30,581	56,767	29,128
	予算現額(千円)		30,581	56,767	29,128
	決算額(千円)		29,850	49,832	27,931
	指標 (項目)	自己資本構成比率(%)	目標値	62.2	62.2
計算式等	$[(\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額など}+\text{繰延収益})/(\text{負債資本合計})]\times 100$	実績値	63.3	63.8	65.0
検証結果	<p>各年度において現金残高や資金残高を精微に見込み、経費削減に努めた結果、企業債の借入れ額を償還額の範囲内に抑えました。</p> <p>自己資本構成比率も目標値を上回っており、事業経営の安定化に努めています。</p> <p>事業費は主に、局内システム関連の機器借上料、保守管理委託料や情報政策課への負担金です。機器代や人件費単価の高騰及び情報政策課へのシステム使用に関する負担金の増により、期間内の予算額・決算額が計画額を上回りました。令和5年度については、職員使用端末の調達方法をリースから市と共通仕様の端末の購入へと変更したことにより、予算額・決算額が計画額を大幅に上回りましたが、長期的な費用の削減を図っています。</p>				

6-2-1 適正な組織・職員配置

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業や組織の見直し等により、人的資本を有効に機能させるとともに、「人材の育成」事業と合わせ、組織全体の価値提供水準を向上させます。 					
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全業務において、必要に応じ、民間委託可能な業務の点検を実施します。 ・社会経済状況が変化中、お客様のニーズに適切に対応することができるよう、効率的かつ効果的な組織体制づくりの検討を実施します。 					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	0	0	0	0		
年度毎の設定項目			4年度	5年度	6年度	
	指標 (項目)	時間外勤務の実施時間の削減(%減)	目標値	R2年度比 5%削減	R3年度比 5%削減	R4年度比 5%削減
	計算式等		実績値	R2年度比 18.4%削減	R3年度比 0.9%削減	R4年度比 1.2%削減
検証結果	<p>中長期的な視点に立ち、適切な組織体制について検証を行いました。</p> <p>時間外勤務の実施時間については、令和4年度は業務全体の見直しを図ることで前々年度比18.4%と大きく削減することができました。令和5年度と令和6年度についても目標値を超えることはできなかったものの前々年度比で削減となりました。</p>					

6-2-2 人材の育成

事業目的	・重要なライフラインを担う水道事業体として、資格取得や外部研修への参加を奨励するとともに、職員間で知識や技術を共有することにより、各事業に関する専門的な知識等を有する職員を継続的に育成し、将来にわたって水道事業を維持、継続していくために必要な専門的知識及び技術の継承を図ります。					
事業目標	・職務に必要な資格取得を継続的に奨励します。 ・研修の参加を促進します。					
財務概況	令和4年度～6年度の総額					
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		
	3,342	3,704	3,704	2,736		
年度毎の 設定項目			4年度	5年度	6年度	
	計画額(千円)		1,114	1,114	1,114	
	当初予算額(千円)		1,384	1,155	1,165	
	予算現額(千円)		1,384	1,155	1,165	
	決算額(千円)		989	1,003	744	
	指標 (項目)	水道技術に関する資格取得度	目標値	1.51	1.51	1.51
			実績値	1.55	1.51	1.58
	計算式等	職員が取得している水道技術に関する資格数/全職				
	指標 (項目)	外部研修時間	目標値	20.0	20.0	20.0
			実績値	19.9	18.4	16.9
	計算式等	(職員が外部研修を受けた時間×受講人数)/全職				
	指標 (項目)	内部研修時間	目標値	10.0	10.0	10.0
実績値			3.8	3.2	6.6	
計算式等	(職員が内部研修を受けた時間×受講人数)/全職					
検証結果	<p>局内の職員へ積極的に研修案内等の情報発信を行い、専門知識・技術の習得や資格取得につなげました。</p> <p>令和5年3月に東京ガスネットワーク株式会社との「BPR支援に関する連携協定」を締結し、令和5年度より局内において運用を開始しました。年度ごとに実践する職員を選出し、東京ガスネットワーク株式会社の社員や局内のBPR経験者からアドバイスを受けながら取り組み、延べ17個の取り組みやその成果などを局内で共有することで、職員一人ひとりが日常的にBPRに取り組む風土の醸成を図っています。</p> <p>事業費は主に研修の受講費用であり、年度ごとに各課からの意向を踏まえ予算編成をしていますが、実際に配属される職員や職務の状況等により計画額・予算額と決算額に差が生じました。</p>					

6-3-1 中期経営計画の運用

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・経営基盤の強化を図るため、中期経営計画を策定し、各事業の進捗管理を行います。 ・中期経営計画に基づく財政とバランスのとれた施設整備を進めます。 			
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・業務指標等により毎年度 PDCA サイクルに基づく進捗管理を行うとともに、3年から4年ごとに期間検証を行います。 ・包括的民間委託など、民間活力の導入について調査・検討を行います。 ・財政収支計画を定期的に検証するとともに、3年から5年ごとの適切な時期に経営戦略の内容を検証し、見直しを行います。 			
財務概況	令和4年度～6年度の総額			
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)
	71	78	89	88
年度毎の設定項目		4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)	0	0	71
	当初予算額(千円)	0	0	78
	予算現額(千円)	0	0	89
	決算額(千円)	0	0	88
検証結果	<p>第2期までの事業の進捗と財政収支の状況を踏まえ、令和6年度に第3期中期経営計画(アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン)の改訂を行いました。</p> <p>また、各年度において、事業評価及び中期経営計画のローリングを実施し、各事業の進捗管理を行いました。</p> <p>令和6年度については、経営計画改訂版の印刷費用を見込んでいましたが、印刷単価の変更に伴い、予算額・決算額が計画額を上回りました。</p>			

6-3-2 広域連携の強化

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業の基盤強化を図るため、他の水道事業者と連携し、効果的な広域連携の手法について検討を行います。 ・水道事故などの危機対応のため、関係団体との連絡体制の構築、情報の共有化を図ります。 			
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「埼玉県水道ビジョン」の方針に沿い、近隣事業者と効果的な広域連携の手法について検討を行います。 ・水道関係団体との連携を継続して図っていきます。 			
財務概況	令和4年度～6年度の総額			
	計画額 (千円)	予算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)
	2,707	2,719	2,719	2,580
年度毎の設定項目		4年度	5年度	6年度
	計画額(千円)	894	918	894
	当初予算額(千円)	915	927	877
	予算現額(千円)	915	927	877
	決算額(千円)	811	893	876
検証結果	<p>埼玉県第7ブロック水道広域化検討部会にて、水道広域化についての検討・情報共有を行い、連携を深めました。</p> <p>事業費の主な内容は、各団体の負担金ですが、日本水道協会負担金については一昨年度の年間有収水量から積算されるため、計画額と予算額・決算額に差が生じました。</p>			

3 経営戦略についての期間検証

各事業についての検証は「2 各事業についての期間検証」に記載のとおりです。ここでは、経営指標及び財政収支計画について検証を行います。

経営指標の検証

重要指標 計算式	R4	R5	R6	R6類似団体 平均	現状分析	今後の対策等
経常収支比率(%) 経常収益÷経常費用×100	120.41	118.80	116.70	108.66	全国・類似団体平均を上回る水準となっているものの、有収水量の減により、令和4年度から減少に転じています。	今後も水需要の動向を注視し、業務の効率化や経費削減等に積極的に取り組むとともに、令和8年4月に予定している料金改定により、経営改善に努めます。
流動比率(%) 流動資産÷流動負債×100	204.81	226.74	245.31	217.12	上昇傾向にあり、令和6年度は全国・類似団体平均を上回っています。	今後も建設改良のための投資が増加する見込みであることから、計画的な起債による企業債残高の抑制や料金収入の確保に努めます。
企業債残高対給水収益比率(%) 企業債現在高合計÷給水収益×100	247.35	247.69	248.65	253.22	企業債残高は僅かに減少したものの、給水収益の減少がそれを上回ったため、令和4年度からやや上昇傾向にあります。一方、全国・類似団体との比較では、平均を下回る水準となっています。	今後も計画的な起債や料金収入の確保に努めます。
料金回収率(%) 供給単価÷給水原価×100	111.14	109.39	107.76	101.56	水道料金改定により改善が図られ、100%を上回っていますが、給水収益が伸び悩む一方で、経常費用が増加傾向にあることから、年々下降しています。	業務の効率化や経費削減等に積極的に取り組むとともに、令和8年4月に予定している料金改定により、改善を見込んでいます。
給水原価(円) 経常費用－(受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費)－長期前受金戻入÷年間総有収水量	184.80	189.42	192.29	169.99	上昇傾向にあり、水準としても全国・類似団体平均を上回っています。資材価格の高騰や労務単価の上昇に加え、令和8年度からの埼玉県営水道料金の引き上げにより給水に係る費用の増大が見込まれます。	今後も経営の効率化と漏水率の低減による有収率の向上に努めます。
施設利用率(%) 一日平均配水量÷一日配水能力×100	84.11	83.48	83.92	64.13	下降傾向にありましたが、一日平均配水量の増により、令和6年度から上昇しています。	給水人口の減少等による水需要の減少も見込まれることから、今後も適正な施設規模の検討を行います。
有収率(%) 年間総有収水量÷年間総配水量×100	90.79	90.52	89.50	90.98	類似団体よりも低い水準で推移し、令和4年度から下降傾向にあり、その原因に関して検証作業を進めています。	今後も漏水の早期発見・修理や、漏水が多いポリエチレン製給水管のステンレス化等、漏水対策の強化を継続し、無効・無収水量の削減に努めていきます。
有形固定資産減価償却率(%) 有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価	45.80	46.31	46.67	53.15	有形固定資産減価償却率は全国・類似団体平均を下回っているものの、管路経年化率は令和6年度に全国・類似団体平均を上回り、いずれも施設の老朽化の進行により上昇傾向にあります。当市の管路の布設は昭和50年代以降に集中していることから、法定耐用年数40年を超える管路が増加してきており、また浄配水場等においても更新が必要な設備の増加が見込まれます。	今後、更新が必要な管路や浄配水場等設備の増加が見込まれることから、計画的かつ効率的な更新に取り組むことが必要です。
管路経年化率(%) 法定耐用年数を経過した管路延長÷管路延長×100	25.21	28.20	29.72	29.70		
管路更新率(%) 当該年度に更新した管路延長÷管路延長×100	0.85	0.96	0.98	0.69	長期的な施設更新計画に基づき、将来を見据えた計画的な管路の更新に努めてきたこと、また、更新延長(計画)の見直しにより、管路更新率は、全国・類似団体平均を上回る水準となっています。	経過年数や管種、漏水発生状況等を勘案し計画的かつ効率的に管路の更新を進めていきます。

※類似団体とは、給水人口 30 万人以上の末端給水事業者

<収益的収支>

収益的収支	収益的収支計算書			計画額			執行額			執行率(計画額比)																							
				R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6																					
	営業	料	受託	その他	営業	長期	その他	収入	計③	費用	職員	労働	修繕	材料	その他	減価	営業	支払	利息	その他	支出	経常	特別	特別	特別	当年度	繰越	流動	うち	うち	うち	うち	
営業	料	受託	その他	営業	長期	その他	収入	計③	費用	職員	労働	修繕	材料	その他	減価	営業	支払	利息	その他	支出	経常	特別	特別	特別	当年度	繰越	流動	うち	うち	うち	うち		
①	①	②	②	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	
13,154,998	12,013,634	74,720	1,066,645	300,387	240,343	60,044	13,455,385	11,509,366	800,135	196,869	518,402	114,347	6,896,712	2,982,901	363,409	356,423	6,986	11,872,774	1,582,611	1	8,092	△ 8,091	1,574,520	9,091	3,823,084	1,290,201	2,512,916	206	0	649,857			
13,159,785	12,093,859	85,204	980,722	271,392	238,911	32,481	13,453,943	11,288,043	640,128	168,499	338,602	102,459	6,977,871	3,060,484	336,481	327,605	8,876	11,624,523	2,311,387	2,273	0	2,273	1,831,693	0	3,067,377	1,426,701	2,528,864	5,255	0	860,373	855,553		
12,829,605	11,704,691	78,355	982,978	352,519	243,315	109,204	13,129,775	10,548,025	653,745	168,499	336,002	101,508	6,310,009	2,931,223	355,867	349,124	6,743	10,903,892	2,225,883	1,001	483,244	△ 482,243	1,743,640	1,946	6,987,344	1,320,999	3,081,650	424,002	0	764,973	676,181		
12,665,614	11,632,532	70,578	962,503	304,346	247,325	57,020	12,969,959	10,809,853	709,582	177,237	402,921	98,035	6,409,330	2,917,599	304,289	296,611	7,678	11,114,142	1,855,817	2,977	8,501	△ 5,524	2,074,780	9,207	6,276,449	1,301,008	2,558,571	80,757	0	802,942	676,181		
0.97	0.98	0.95	0.92	1.17	1.01	1.82	0.98	0.92	0.82	1.13	0.65	0.82	0.91	0.98	0.98	0.98	0.97	0.92	1.41	1.10	1.31	59.72	59.60	1.11	0.21	1.47	0.96	1.09	9.74	-	1.18	0.93	
0.97	0.97	0.92	1.07	1.15	1.03	2.07	0.98	0.95	1.06	1.05	1.26	1.10	0.92	0.95	0.97	0.97	0.84	0.95	1.14	1.10	1.31	皆増	△ 2.43	1.13	皆増	2.17	0.92	1.23	80.68	-	0.93	0.79	
0.96	0.96	0.83	0.98	1.12	1.03	1.76	0.97	1.00	1.11	1.20	1.20	0.97	1.00	0.94	0.97	0.97	0.90	1.00	0.80	0.80	23.45	皆増	9.18	皆増	2.05	0.91	1.01	15.25	-	-	-		
営業	料	受託	その他	営業	長期	その他	収入	計③	費用	職員	労働	修繕	材料	その他	減価	営業	支払	利息	その他	支出	経常	特別	特別	特別	当年度	繰越	流動	うち	うち	うち	うち		
13,154,998	12,013,634	74,720	1,066,645	300,387	240,343	60,044	13,455,385	11,509,366	800,135	196,869	518,402	114,347	6,896,712	2,982,901	363,409	356,423	6,986	11,872,774	1,582,611	1	8,092	△ 8,091	1,574,520	9,091	3,823,084	1,290,201	2,512,916	206	0	649,857			
13,159,785	12,093,859	85,204	980,722	271,392	238,911	32,481	13,453,943	11,288,043	640,128	168,499	338,602	102,459	6,977,871	3,060,484	336,481	327,605	8,876	11,624,523	2,311,387	2,273	0	2,273	1,831,693	0	3,067,377	1,426,701	2,528,864	5,255	0	860,373	855,553		
12,829,605	11,704,691	78,355	982,978	352,519	243,315	109,204	13,129,775	10,548,025	653,745	168,499	336,002	101,508	6,310,009	2,931,223	355,867	349,124	6,743	10,903,892	2,225,883	1,001	483,244	△ 482,243	1,743,640	1,946	6,987,344	1,320,999	3,081,650	424,002	0	764,973	676,181		
12,665,614	11,632,532	70,578	962,503	304,346	247,325	57,020	12,969,959	10,809,853	709,582	177,237	402,921	98,035	6,409,330	2,917,599	304,289	296,611	7,678	11,114,142	1,855,817	2,977	8,501	△ 5,524	2,074,780	9,207	6,276,449	1,301,008	2,558,571	80,757	0	802,942	676,181		
0.97	0.98	0.95	0.92	1.17	1.01	1.82	0.98	0.92	0.82	1.13	0.65	0.82	0.91	0.98	0.98	0.98	0.97	0.92	1.41	1.10	1.31	59.72	59.60	1.11	0.21	1.47	0.96	1.09	9.74	-	1.18	0.93	
0.97	0.97	0.92	1.07	1.15	1.03	2.07	0.98	0.95	1.06	1.05	1.26	1.10	0.92	0.95	0.97	0.97	0.84	0.95	1.14	1.10	1.31	皆増	△ 2.43	1.13	皆増	2.17	0.92	1.23	80.68	-	0.93	0.79	
0.96	0.96	0.83	0.98	1.12	1.03	1.76	0.97	1.00	1.11	1.20	1.20	0.97	1.00	0.94	0.97	0.97	0.90	1.00	0.80	0.80	23.45	皆増	9.18	皆増	2.05	0.91	1.01	15.25	-	-	-		

〈資本的収支〉

資本的収支計算書	計画額			執行額			執行率(計画額比)		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
資本的収入	1,750,000	1,730,000	1,580,000	1,750,000	1,730,000	1,522,200	1.00	1.00	1.00
企業債	2,183	7,080	40,750	12,183	33,245	0	5.58	4.70	皆減
国(都道府県)補助金	94,697	81,854	81,854	34,309	64,844	40,803	0.36	0.79	0.50
工事負担金	76,797	174,352	170,696	63,318	84,271	88,934	0.82	0.48	0.52
その他	1,923,677	1,993,286	1,873,300	1,859,810	1,912,360	1,651,937	0.97	0.96	0.88
計⑮	6,081,292	6,194,255	6,239,795	4,884,551	4,529,630	5,367,362	0.80	0.73	0.86
資本的支出	1,756,380	1,735,384	1,589,469	1,756,379	1,735,384	1,589,469	1.00	1.00	1.00
企業債償還金	0	0	0	0	0	0	-	-	-
他会計への支出金	7,837,672	7,929,639	7,829,264	6,640,930	6,265,013	6,956,831	0.85	0.79	0.89
計⑯	5,913,995	5,936,353	5,955,964	4,781,120	4,352,654	5,304,895	0.81	0.73	0.89
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 ⑰=⑮-⑯									

損益勘定留保資金	3,158,190	3,467,849	2,937,208	2,623,848	1,332,048	2,774,767	0.83	0.38	0.94
利益剰余処分金額	2,250,000	1,922,262	2,470,435	1,756,379	2,640,000	2,080,000	0.78	1.37	0.84
繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	-	-	-
その他の	505,805	546,241	548,321	400,894	380,605	450,128	0.79	0.70	0.82
計⑱	5,913,995	5,936,353	5,955,964	4,781,120	4,352,654	5,304,895	0.81	0.73	0.89
補填財源不足額⑲=⑱-⑰									
企業債残高	28,997,122	28,991,738	28,982,269	28,997,122	28,991,739	28,924,469	1.00	1.00	1.00

収益的収入	112,417	48,498	48,498	70,911	50,379	55,391	0.63	1.04	1.14
うち基準内繰入金	76,638	48,498	48,498	70,911	50,379	55,391	0.93	1.04	1.14
うち基準外繰入金	35,779	0	0	0	0	0	-	-	-
資本的収入	76,797	174,313	170,657	63,318	84,271	88,759	0.82	0.48	0.52
うち基準内繰入金	76,797	174,313	170,657	63,318	84,271	88,759	0.82	0.48	0.52
うち基準外繰入金	0	0	0	0	0	0	-	-	-
合計	189,214	222,811	219,155	134,229	134,649	144,150	0.71	0.60	0.66

計画期間第2期は、水需要が想定より低下したことなどから、料金収入は減少傾向にあり、収益的収入は計画額を下回りました。収益的支出は、全体としては計画額を下回っていますが、動力費、修繕費は一部計画額を上回っているほか、主に人件費や減価償却費が増加傾向にあり、令和6年度の当年度純利益は計画額より大幅減となりました。資本的収支では、建設改良費は、計画額を下回っており、企業債の借入れ額を償還額の範囲内に抑えています。しかし、原材料費や燃料費の急激な高騰に加え、労務単価の上昇も相まって、老朽化していく配水管等の維持や更新に必要な費用は年々増大していることから、更なる経営健全化を目指し、経営の効率化や経費削減策に積極的に取り組む必要があります。